

取組の名称		三菱地所レジデンスのマンション緑地を活用した生物多様性保全の取り組み ～バイオ ネット イニシアチブ～	
活動主体（団体名）		三菱地所レジデンス 株式会社	
活動主体（団体名）（フリガナ）		ミツビシジシヨレジデンス カブシキガイシャ	
取組の内容 （自由記述）	①概要	新築分譲マンション「ザ・パークハウス」の緑地において、地域に馴染みのある樹種や環境に配慮した維持管理手法を取り入れた独自基準「バイオ ネット イニシアチブ」を導入し、マンションの規模や緑地面積に関わらず、「守る・育てる・つなぐ・活かす・減らす」の5つのテーマを軸に、生き物が安心して暮らせる環境づくりと、周辺の緑とつながる中継地としての緑化空間の創出を通じて、都市の生態系ネットワーク形成を推進している。	
	②取組内容を確認できるURL （または資料添付）	https://www.mecsumai.com/bionetinitiative https://www.mec-r.com/news/2023/2023_0928.pdf	
	③実施時期、頻度	2015年から通年で実施	
	④活動場所（所在地）	導入物件は都内約150物件、全国約270物件（2025年9月末 工事着工ベース）	
	⑤活動の規模（参加者数）	社員数十名	
	⑥活動状況がわかる写真（撮影年月日）（既に実施している場合）※	 ザ・パークハウス板橋太山大楠ノ杜	 自然観察セミナー
		2023年11月	2024年10月
対応する社会課題 （該当する項目にチェック／複数選択可）		☐	子供の福祉（子供の健やかな成長を社会全体でサポート）
		☒	都民の健康・長寿（誰もが元気で心豊かに暮らせる地域の実現）
		☒	コミュニティ形成（誰もが集い、支え合うコミュニティを至るところに形成）
		☒	防災・減災／気候変動対策（地球温暖化に伴う豪雨や自然災害等の被害軽減）
		☐	地域振興（東京全体の生産性、魅力向上）
		☐	観光・文化振興（人々のウェルビーイング、東京のプレゼンス向上）
		☐	農林水産業の成長（危機に強い産業構造への転換）
		☒	緑や水辺を生かした空間の創出／自然地保全・管理（都市機能を高め、世界を魅了）
活用している生態系の機能 （該当する項目にチェック／複数選択可）		☐	供給サービス（日々の暮らしに必要な資源を供給／食料、繊維、木材、水、薬品など）
		☒	調整サービス（二酸化炭素の吸収）
		☒	調整サービス（都市環境の質の向上／ヒートアイランド現象・暑熱環境の緩和）
		☐	調整サービス（都市環境の質の向上／大気汚染や騒音の低下）
		☒	調整サービス（災害の緩和／台風、洪水、津波、地滑り、雨水浸透、Eco-DRR）
		☐	調整サービス（水質の浄化／窒素やリンの吸収、有機物の取り込み）
		☐	調整サービス（花粉媒介／植物の世代交代、農作物の収穫量の増加）
		☒	文化的サービス（精神を豊かにする機能／芸術的・文化的なひらめき、教育的効果、心身のやすらぎ、観光レクリエーションなど）
		☒	基盤サービス（生息・生育環境の提供）
		☒	基盤サービス（光合成による酸素の生成）
		☐	基盤サービス（地力の維持及び栄養循環）
貢献の内容 （自由記述）	①人間の幸福に対して	・「バイオネット」を導入した緑地は、レインガーデンや透水性舗装などを積極的に採用し、ヒートアイランド現象への影響緩和、雨水の抑制、有効利用にも寄与 ・「バイオネット」は、生物多様性に配慮した緑地を日常空間に取り入れ、植物や生き物とのふれあいを通じて居住者の心の安らぎと「Well-being」の向上にも貢献 ・緑地は人々の交流の場としても機能し、コミュニティ形成を促進 ・居住者参加型の環境教育プログラム（自然観察セミナー、勉強会など）を複数回開催、管理員に対し、生物多様性保全の必要性の理解を深める環境コミュニケーションを実施	
	②生物多様性に対して	・(株)シンク・ネイチャーによるビッグデータ分析により、「バイオネット」が生物多様性の再生に効果的であることが定量的に確認 ・導入物件では、非導入物件に比べて植栽本数が4.7倍、樹種数が4.4倍、生物再生率が2.4倍と高い成果が示されており、「ネイチャー・ポジティブ」への貢献が明らかに ・分析対象物件において鳥類のモニタリングを実施した結果、ビッグデータ分析で予測された多数鳥の飛来が確認され、専門家による評価も取得	